

SECURA

QSF207 テレビ壁掛金具 取扱説明書

----- 重量 11kg 以下のフラットテレビの取付用 -----

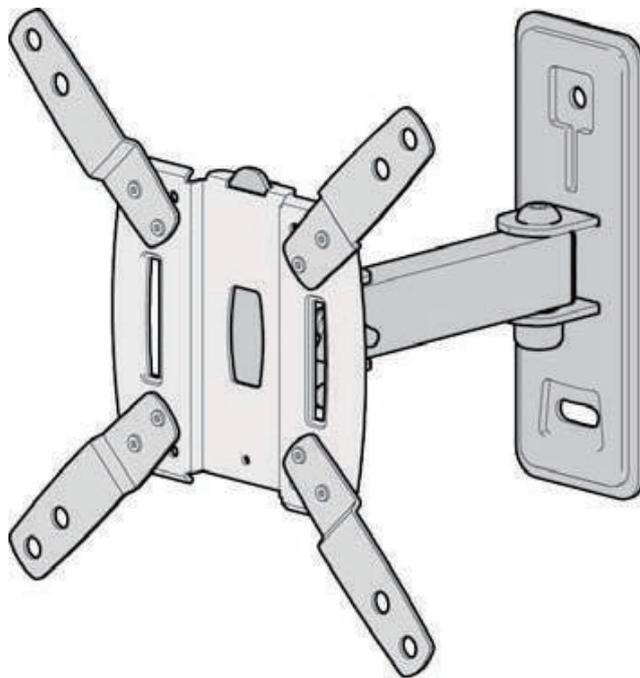
この度は、QSF207 フラットテレビ壁掛金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
QSF207 は 10V 型～ 39V 型のフラットテレビの壁面取付用金具です。
設置の前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しく設置してください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

本製品をご利用になるお客様へ

本製品の設置の際は、特別な技術や確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

フラットテレビの取り付けには特別な技術が必要です。設置の際は本取扱説明書をよくご覧の上、設置作業を行って下さい。取付け不備や、取扱い不備による事故や損傷については、当社では一切の責任を負いません。



SECURA 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ

〒559-0031 大阪市住之江区南港東1丁目2-16

ネットワークジャパン株式会社 TEL 06-6612-2008 FAX 06-6612-2050

<http://www.network-jpn.com/> E-mail : info@network-jpn.com

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

警告



禁止

壁の強度は少なくともテレビと壁掛金具を合わせた重量の5倍の重量に耐える強度が必要です。QSF207 壁掛金具は、10V 型～39V 型で、総重量 11kg 以下の液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。

これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。

又、木製やコンクリート以外の（鉄骨製などの）壁面には取り付け出来ません。

この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。



工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。

専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。

強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。

強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。



湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。

又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めて下さい。

ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。

指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は2人以上で行って下さい。

テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、お子様の近くにこのような部品を置かないで下さい。

又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですからお子様を周囲に近づけないで下さい。



取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損していないことを確認してください。

足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン（株）に連絡して下さい。

尚、破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。



壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



ネットワークジャパン（株）は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して一切の責任を負いません。

重要 本製品を使用する前に、この説明書をよくお読み下さい。又この説明書は、大切に保管して下さい。

必要な工具類



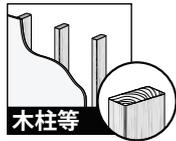
仕様

耐荷重 : 11kg (テレビと付属品を含みます) 適応テレビサイズ: 10V型~39V型

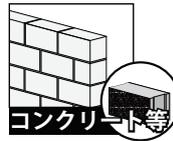
※上記を超過しないようにして下さい。

取付可能な壁面

※下記は一例です。実際の施工に関しては専門の工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。



- ★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅 38mm 奥行き 89mm以上が必要です。
- ★ しっかりとした柱に固定された、厚さ 20mm 以上の構造合板など



- ★ コンクリート壁面の使用可能な最小厚さは、203mm 必要です。
- ★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、203 X 203 X 406mm 必要です。(空洞や隙間のあるブロックには使用できません。)

注意: ケガをしたり、壁面を破損しないように次の点に注意して下さい。

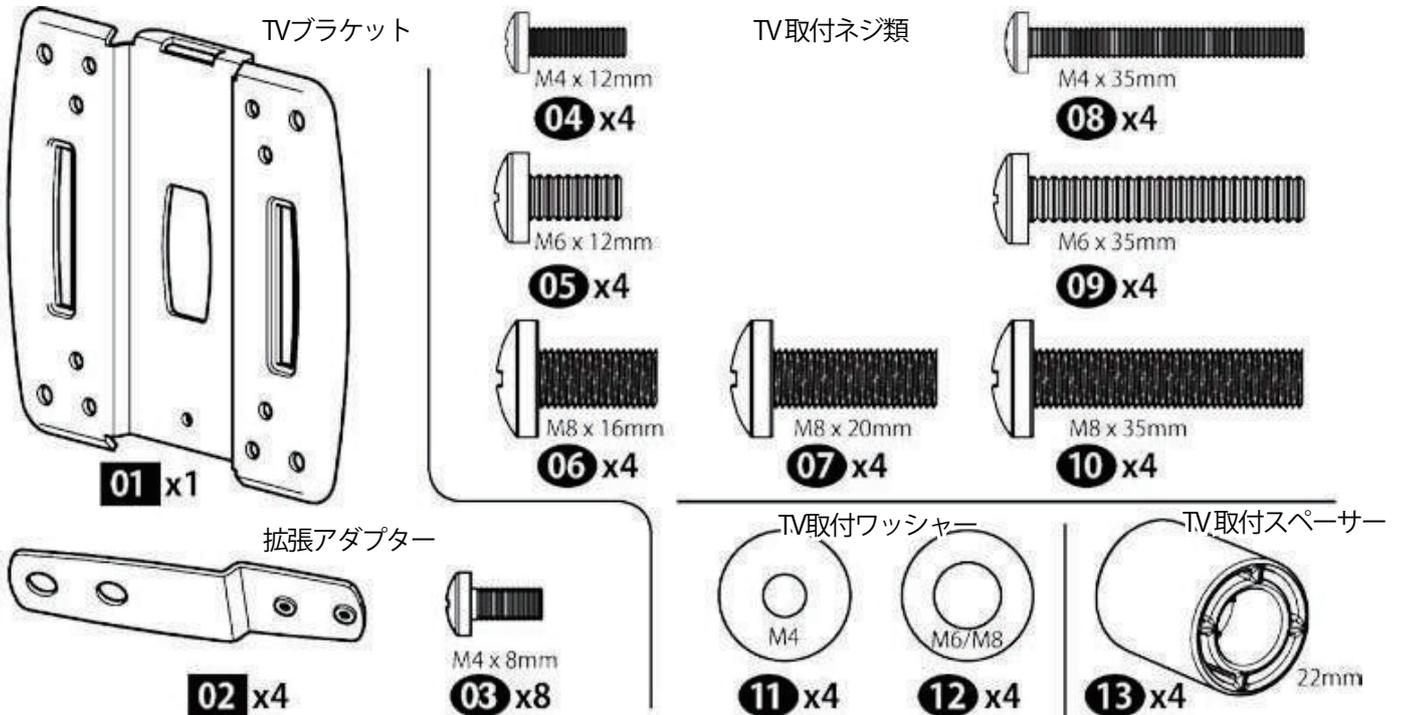
- ★ 用途以外の目的で本製品を使用しないでください。
- ★ ご利用の壁面は、テレビと壁掛金具の総重量の5倍を支えられなければなりません。
- ★ 本製品は金属製柱の壁での使用には適していません。
- ★ ここに記載される内容が解らない場合、または製品の取り付け、組み立てや仕様、その他ご質問がある場合は、ネットワークジャパン (株) 又は認定業者にお問い合わせください。
- ★ 付属の部品はすべて使用する必要はありません。ご利用の環境に合わせて必要な部品をお選びください。また、ご利用の環境によっては別途、お客様において部品をご用意いただく必要があります。

STEP 1 で使用する部品類

警告 : 本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認して下さい。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン (株) までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。

注記: M4, M6又はM8 は直径を指し、mm は「M# X ##mm」の表記において、ネジの長さを指します。また、付属の部品をすべてを使用するわけではありません。



1-1 テレビ背面の壁掛金具取付用ネジ穴パターンの確認

図のように、テレビ背面の壁掛金具取付用ネジ穴の間隔をメジャーで確認します。

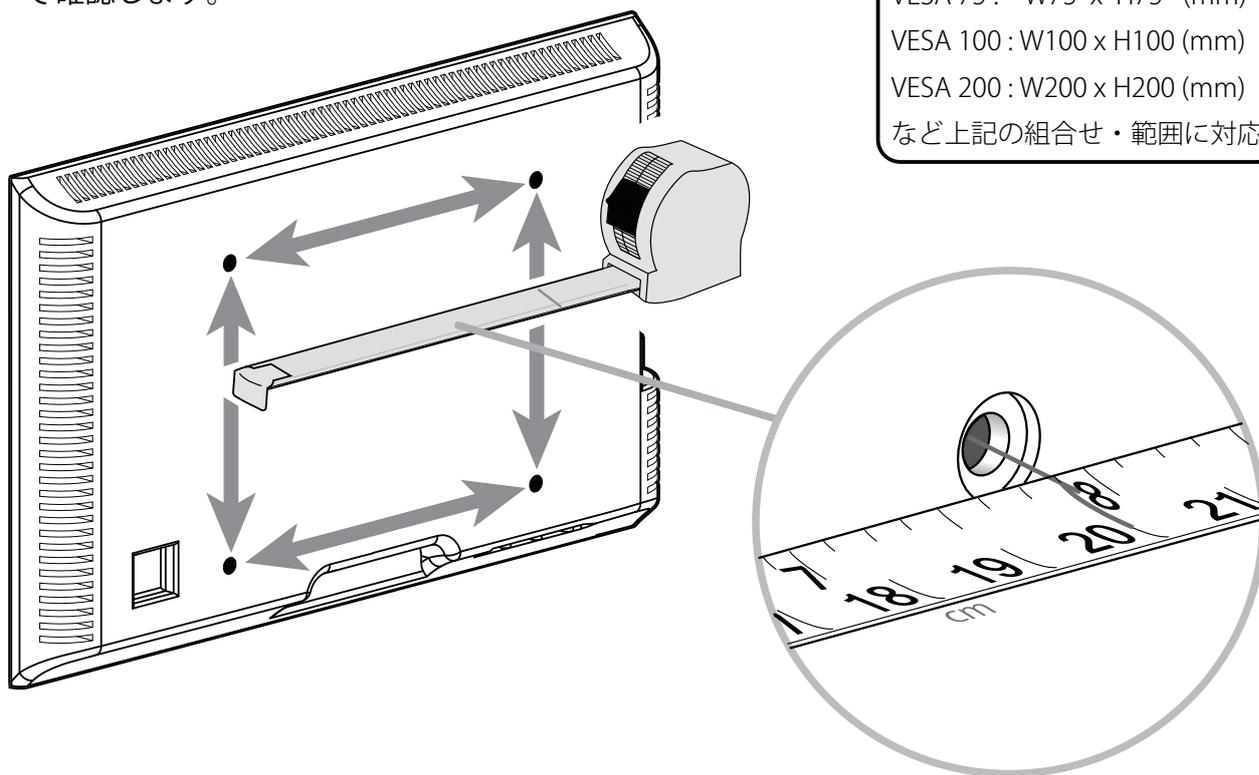
F107d 壁金具取付用ネジ穴パターン例

VESA 75 : W75 x H75 (mm)

VESA 100 : W100 x H100 (mm)

VESA 200 : W200 x H200 (mm)

など上記の組合せ・範囲に対応。



1-2 ブラケットの準備

STEP 1-1で確認したパターンにより、次のA~Cのブラケットパターンを使用します。

A **ネジ穴パターン**
VESA75 x 75 と 100 x 100
などの場合

単位
mm

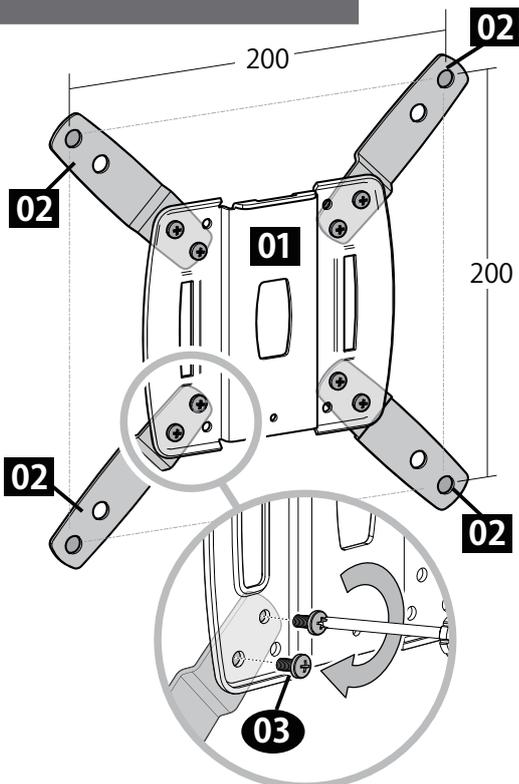
使いません!
02
03

01

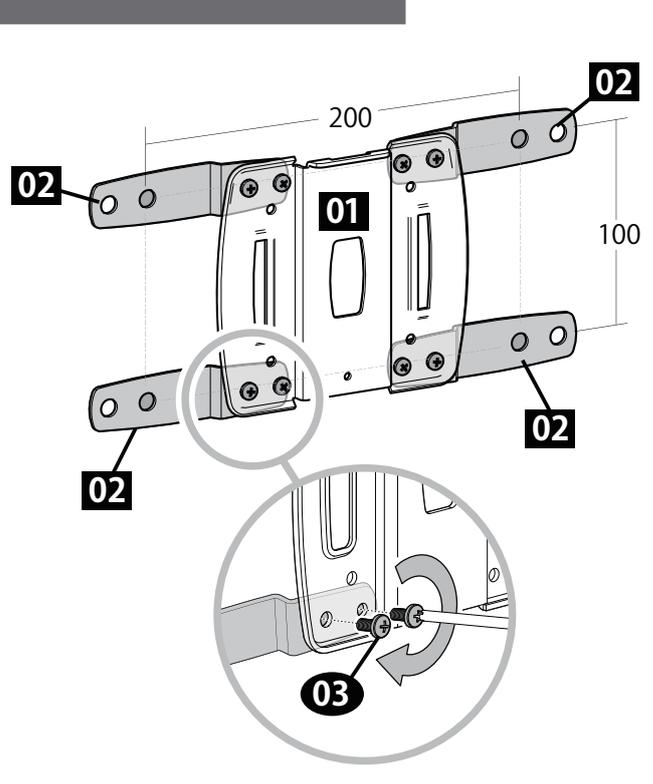
100
75
75
100

テレビブラケット[01]のみを使用する場合の例です。
このパターンではテレビブラケット用アーム[02]やテレビブラケット用アーム取付ネジ[03]は使用しません。

B VESA 200 の場合



C VESA 200 x 100 の場合

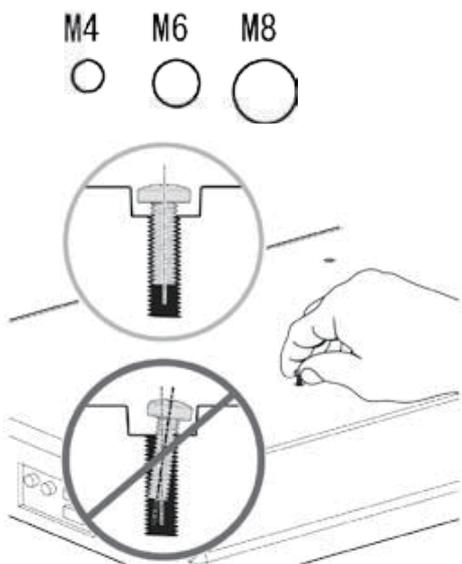


B及びCの場合は、テレビブラケット用アーム[02]をM4x8mmネジ[03]を使い上図のように固定して使用してください。

1-3

テレビ取付用ネジの口径と長さの選択

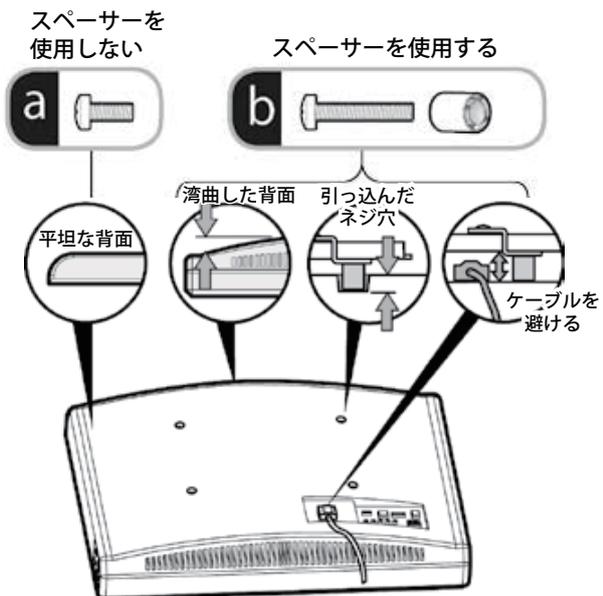
お使いのテレビのタイプによって、使用する部品が変わります。テレビの背面のネジ穴に手でネジをねじ込んで試し、正しいネジの直径(M6またはM8)を選択します。



1-4

スペーサーの選択と取付方法

壁掛金具をご使用になるテレビの背面が平坦かどうか、壁面とテレビの間にケーブル類を配置するためのスペースが必要かどうかを確認します。

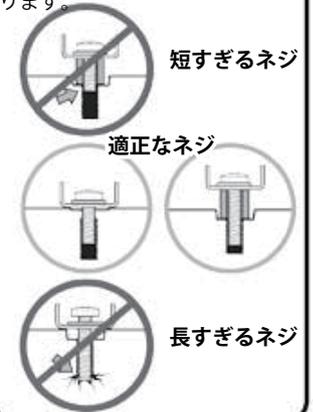


⚠ 注意:

同梱のネジ以外の長さのネジが必要な場合には、別途市販のネジを各自でご用意ください。

⚠ 注意:

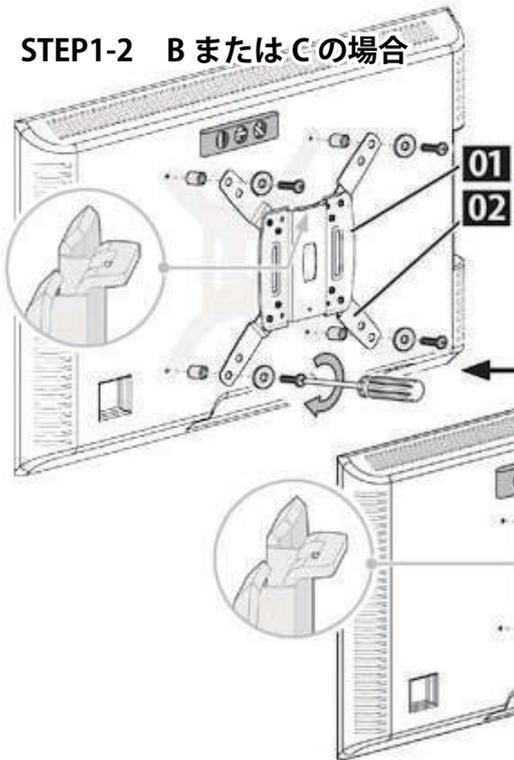
ご使用のテレビに対して、ネジやスペーサーを組み合わせ、適正なネジ山のかみ合わせを確認して下さい。首下の短いネジは、テレビを十分保持できず、首下の長すぎるネジは、テレビの内部に損傷を与える恐れがあります。



1-5 テレビにブラケットを取り付ける

下図に従い必要な部品を選択し、テレビにブラケットを取り付けてください。

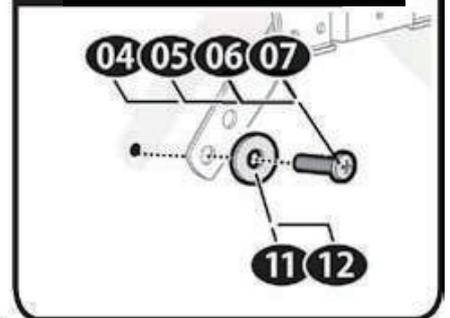
STEP1-2 BまたはCの場合



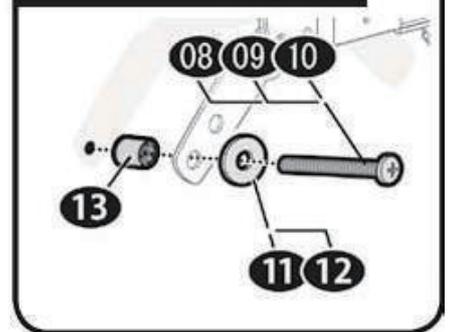
VESA200、VESA200 x 100 でご利用になる場合、拡張アダプターの M4x8mm ネジ [03] を緩めておき、テレビ背面に取り付けてから拡張アダプターの M4x8mm ネジ [03] を締め付けて固定してください。

STEP1-2 Aの場合

スペーサーを使わない場合



スペーサーを使う場合



STEP2 壁掛金具を壁面に取付ける

木柱壁 に取り付ける場合は、7 ページの STEP 2A に従って固定します。

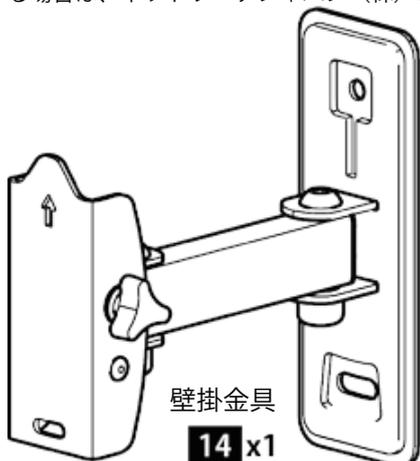
コンクリート壁 に取り付ける場合は、8 ページの STEP 2B に従って固定します。

STEP 2 で使用する部品類



警告 : 本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン (株) までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。



コンクリート壁専用



注意：木柱には使用しない

17
x2



注記：付属の部品をすべて使用するわけではありません。

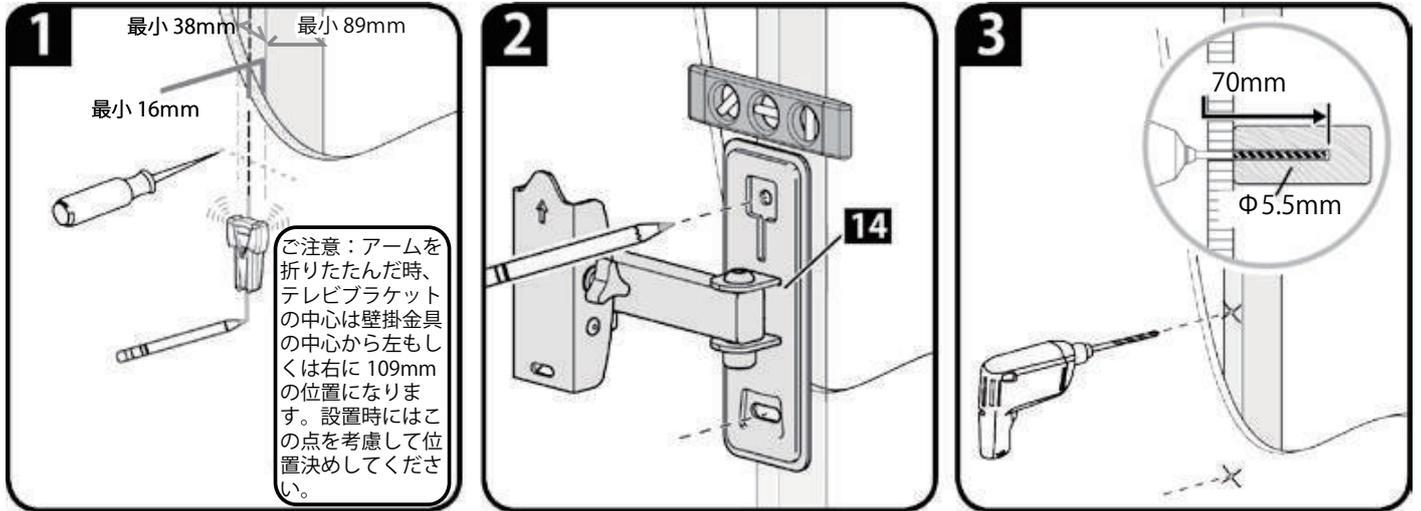
STEP 2A 壁掛金具を取付ける



木柱への取付例

警告: 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと、壁掛金具の総重量の5倍の重量を保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。
なお、本壁掛金具は、木柱の無い石膏ボード自体や鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取付けると、テレビが落下してけがや損傷事故が発生する場合があります。

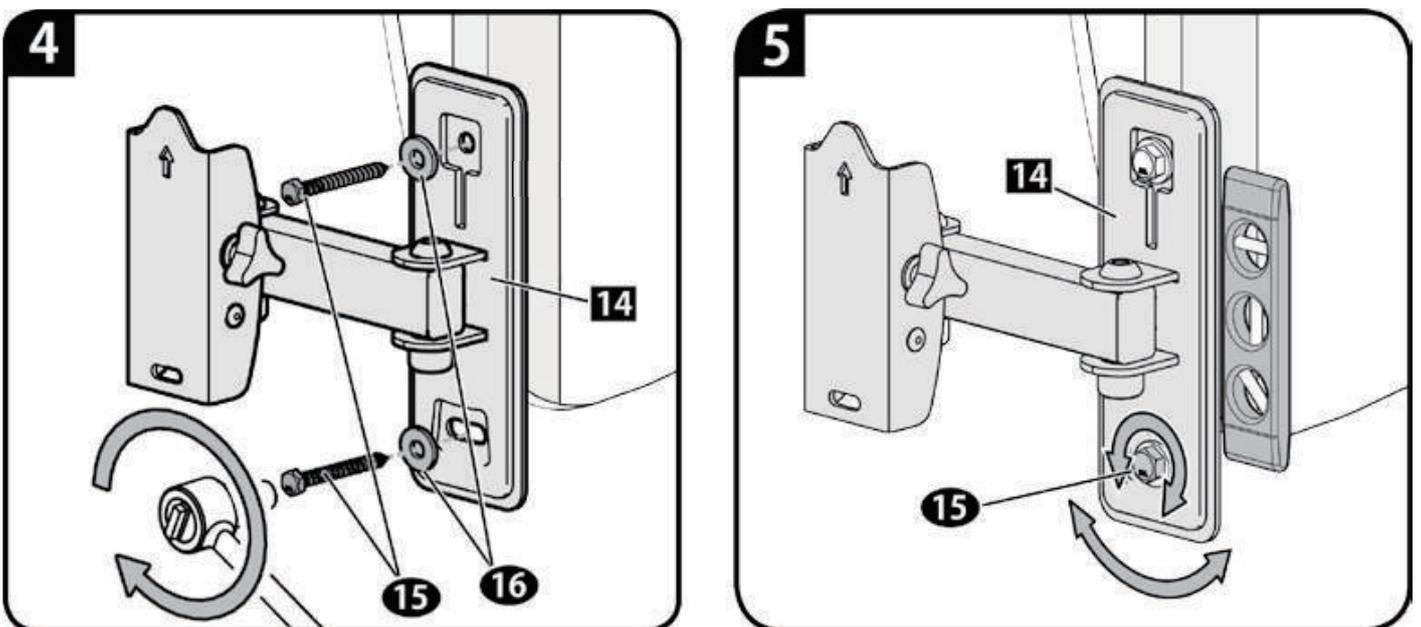
施工の条件: ★ 壁面を覆う石膏ボードや壁面パネル・壁紙等の厚みは、16 mm 以下にしてください。
★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅 38mm 奥行き 89mm以上が必要です。
★ 柱の中心位置は、必ず確認してください。各家屋毎の柱の寸法は必ずしも規格のサイズではありません。



注記: 下地センサー（木柱センサー）は壁の中にある下地材をセンサーで感知して知らせてくれるものです。

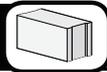
下記の1～3は、下地センサーを用いた柱位置検出方法の一例です。詳細はご使用の下地センサーの取扱説明書に従って下さい。

1. 下地センサーや、千枚通しや、細い釘などを使って、右図のように柱の位置を確認します。下地センサーを左右に動かすと、柱の端を検知するので、マーキングします。二つのマーキング（両端）から柱の中心位置にマーキングを付けます。
2. 壁掛金具 [14] を、図のようにご希望の高さに置き、取付穴の位置を柱の中心線上になるように仮配置します。壁掛金具 [14] を市販の水準器で水平度を確認し、2箇所の下穴を開ける位置にマーキングをします。
3. 先ほどマーキングをした位置に、5.5mm 径のドリルビットを使って、必ず 70 mm の深さに下穴を2箇所開けます。



4. 壁掛金具 [14] を下穴に合わせて柱に配置し、ラグボルト [15] とラグボルトワッシャー [16] で固定します。この時、下側のラグボルト [16] は仮止め程度にゆるく締めておきます。
5. 壁掛金具 [14] に水準器をあて水平を確認し、下側のラグボルト [15] をしっかりと締め付けて固定します。

STEP 2B 壁掛金具を取付ける



コンクリート又はコンクリートブロック壁面への取り付け

警告: 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の5倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「コンクリート又はコンクリートブロック壁面」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

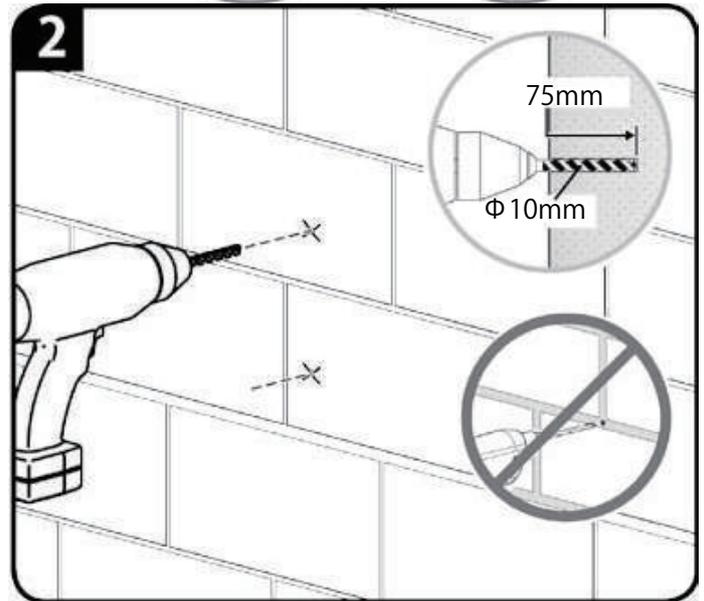
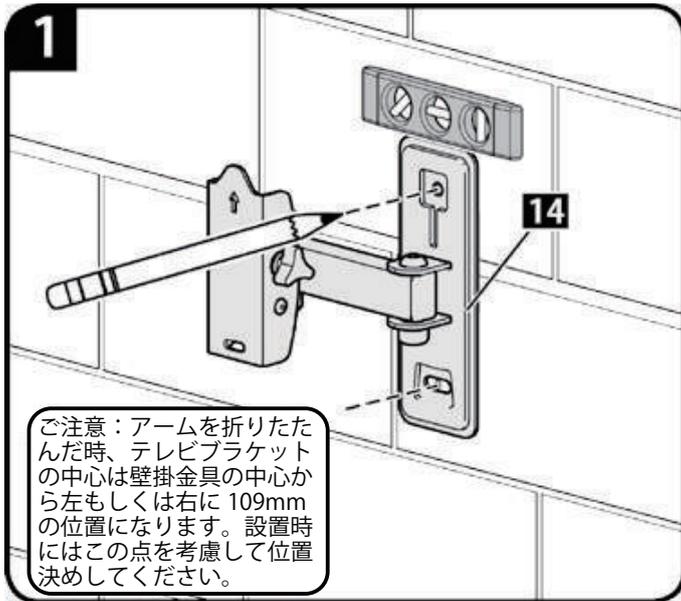
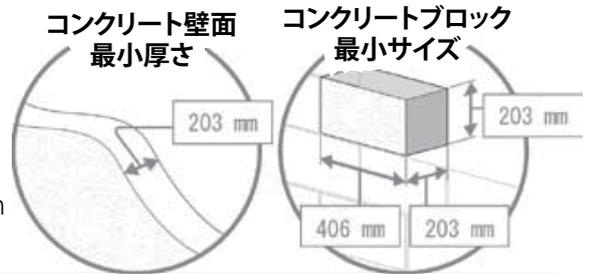
なお、本壁掛金具は、空洞のあるコンクリートブロックや下記の基準以下の厚みのコンクリート壁面、鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故が発生する場合があります。

施工の条件:

★ 壁掛金具[14]は、直接コンクリート又はコンクリートブロック表面に取り付けて下さい。

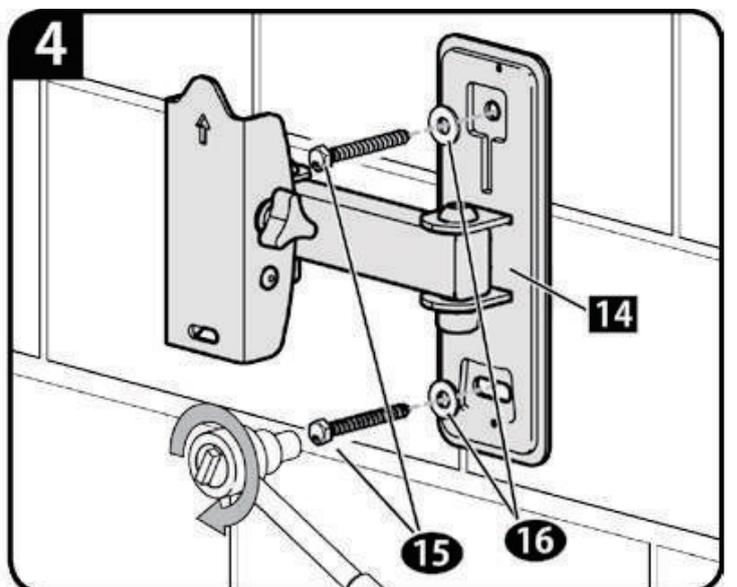
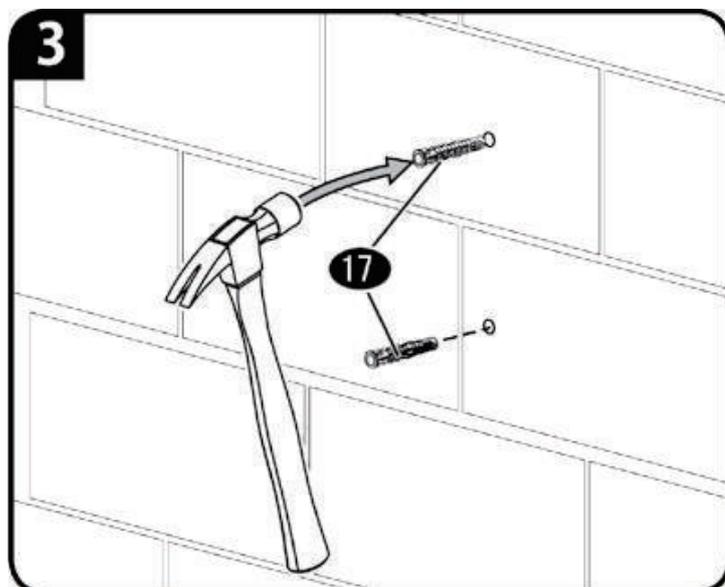
★ コンクリート壁面の使用可能な最小の厚さは、203mm 必要です。

★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、203 X 203 X 406mm 必要です。(空洞のあるものには使用できません。)



1. 壁掛金具 [14] を、図のようにご希望の高さに置き、市販の水準器で水平度を確認し、2箇所の下穴を開ける位置にマーキングをします。
2. マーキングした位置に下穴を開けます。下穴は、10mm 径のドリルビットを使って約 75mm の深さに 2 箇所開けます。
3. 下穴に 2 個のコンクリートアンカー [17] を挿入します。
4. 壁掛金具 [14] を下穴に合わせて柱に配置し、水準器で水平を確認しながらラグボルト [15] とラグボルトワッシャー [16] で固定します。この時、下側のラグボルト [15] は仮止め程度にゆるく締めおきます。
5. 壁掛金具 [14] に水準器をあて水平を確認し、下側のラグボルト [15] をしっかりと締め付けて固定します。

注意: 取り付け穴の強度が保てないので、ブロックの間のモルタル部分には決してドリルで穴を開けないでください。ラグボルトは締め付けすぎないで下さい。壁掛け金具本体に引き込まれる程度とします。コンクリートアンカー [17] は、コンクリート壁面と面一 (つらいち) になるようにハンマーで最後まで打ち込んで下さい。





重量があります！
この作業は二人以上
で行って下さい。

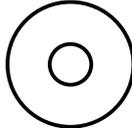
STEP 3 テレビを壁掛金具に取り付ける

STEP 3で使用する部品



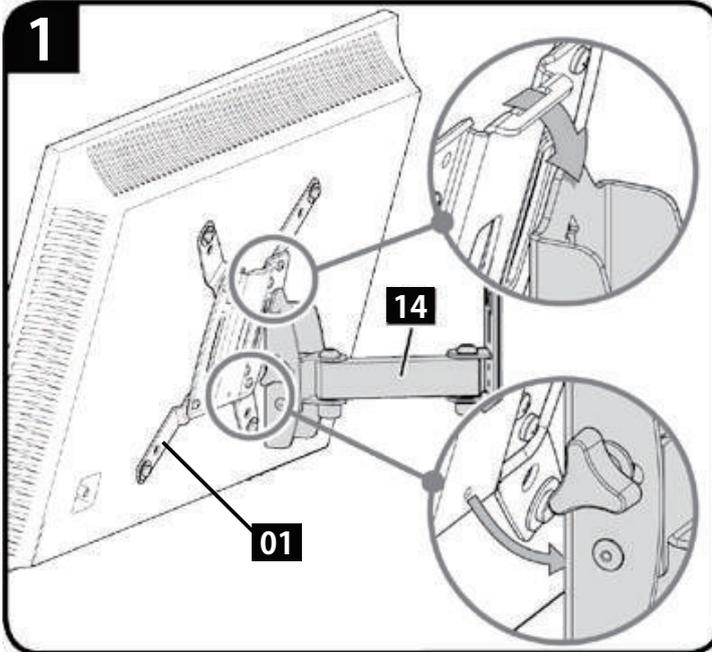
8-32 x 3/8 in.

18 x1 ロックネジ

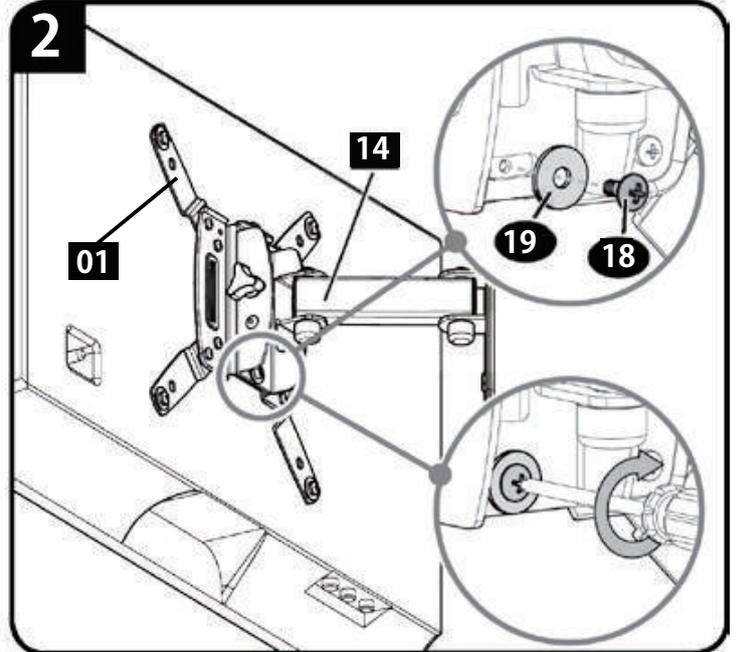


8-32

19 x1 ロックネジ用
ワッシャー



1. 壁に取り付けた壁掛金具[14]のアーム部を引き出し、壁掛金具[14]のアームの先端部の爪を図のようにテレビに取り付けたテレビブラケット[01]の取付部に差込み引っ掛けます。



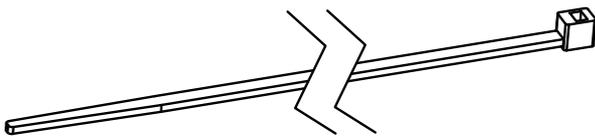
2. 壁掛金具[14]のアーム先端部下のネジ取付窓に、ロックネジ用ワッシャー[19]をロックネジ[18]に差込んでから、テレビブラケット[01]のネジ穴にねじ込んでテレビブラケット[01]を固定します。

定期的にロックネジがしっかり固定していることを確認してください。ネジが緩んでいると脱落の危険があります。

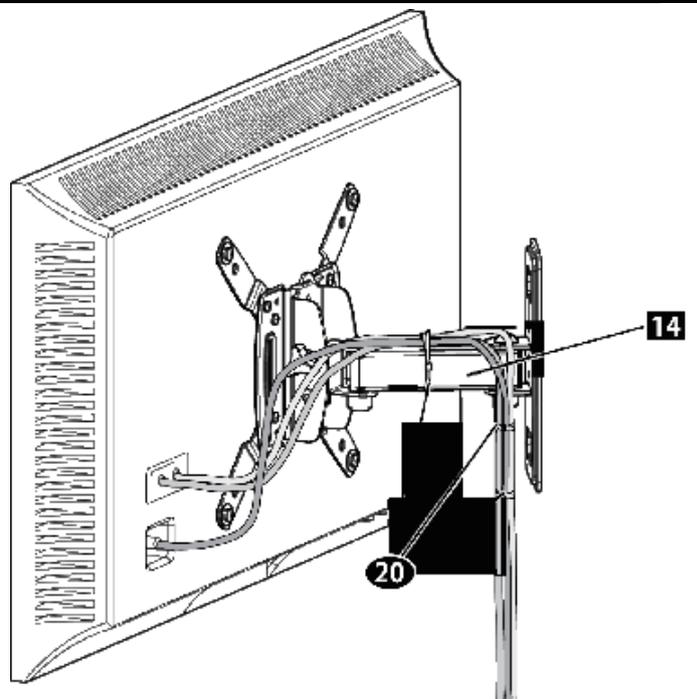
STEP 4 ケーブル類の整理

壁掛金具[14]のアームの図の部分にはケーブルガイドを設けています。また、垂れ下がったケーブル類はケーブル結束バンド[20]を利用し整理してください。

STEP 4で使用する部品



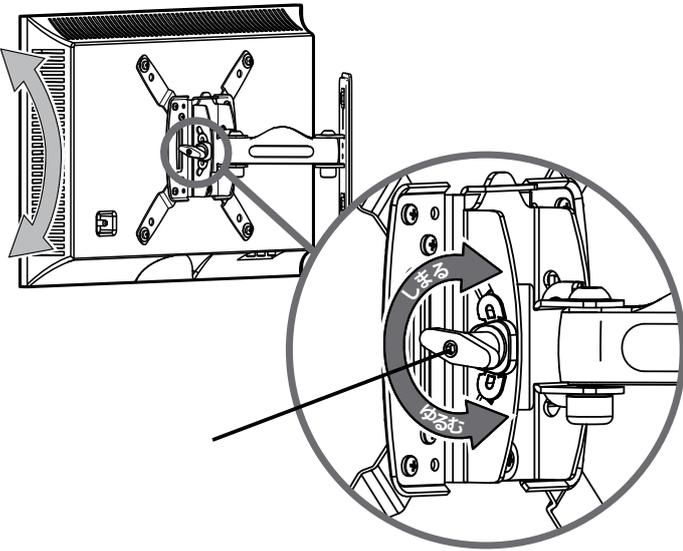
20 x3 ケーブル結束バンド



各部の調節

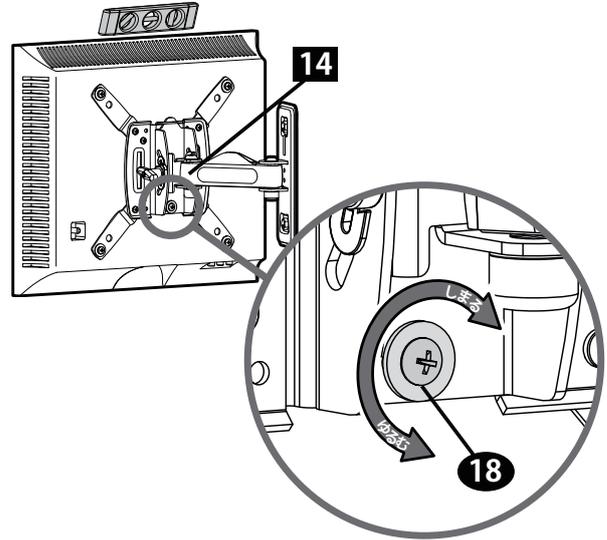
ティルト調節

壁掛金具[14]のティルト調節ノブを緩めて、テレビの角度を適当な位置に調整後、ノブを締めて固定して下さい。前後に最大+3°-15°までの調整が出来ます。



ロール角調整 (微調整)

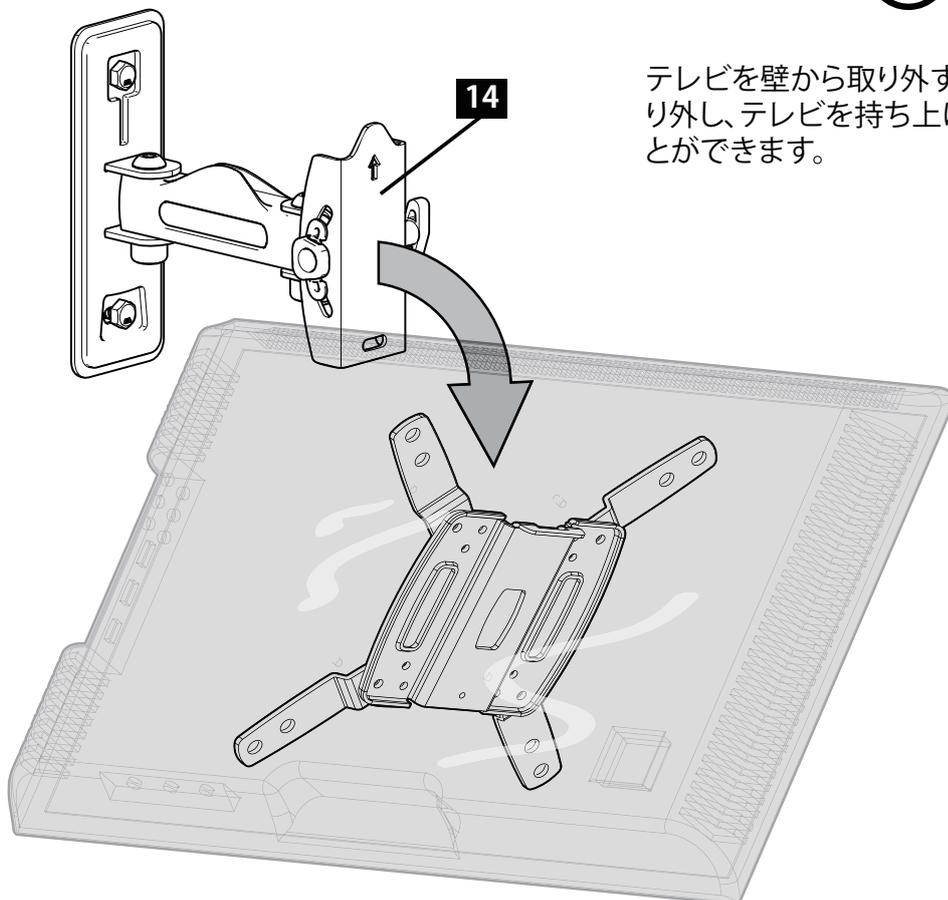
テレビのバランスなどにより、壁掛金具にテレビを取付けた後で左右の水平度が多少傾いていた場合には、左右に最大±5°までの微調整が出来ます。壁掛金具[14]のアームの図の部分のロックネジ[18]を緩めて水準器をテレビにあてがい水平になるように調節します。調整後、ロックネジ[18]を締めて固定して下さい。



テレビの取り外し方

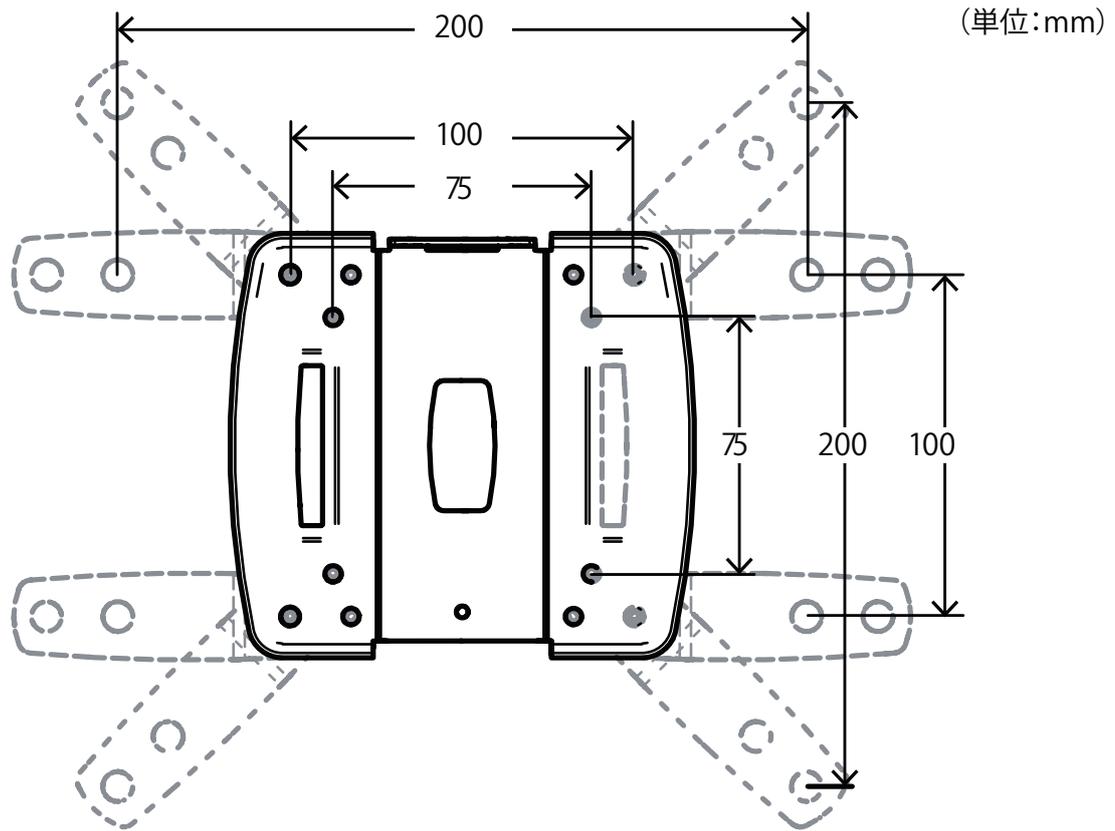


重量があります！
この作業は二人以上
で行って下さい。

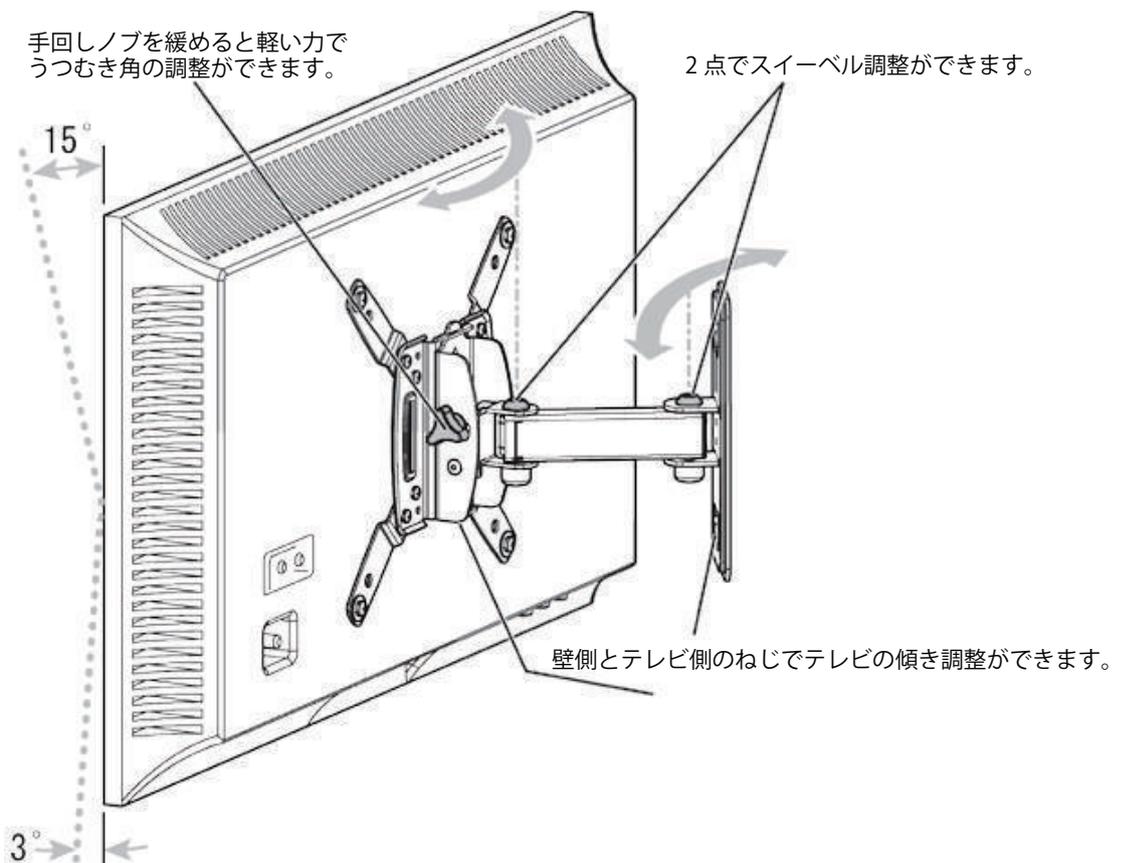


テレビを壁から取り外すときは、ロックネジ[18]を取り外し、テレビを持ち上げるようにすると取り外すことができます。

VESA75, 100, 200 への対応



各部の機能



外觀圖

單位：mm

